

CASBEE_Sapporo2014v1.2
ミッドマークス円山 桜の邸

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄						評価点	重み係数		評価点	重み係数		
	A	B	C	D													
Q 建築物の環境品質													3.3				
Q1 室内環境													3.6				
1 音環境													2.4				
1.1 騒音													1.0	0.50	1.0	0.50	
1.2 遮音													3.0	0.50	4.0	0.50	
1 開口部遮音性能													3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能													-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音													-	-	-	-	
2 温熱環境													1.0	0.35	5.0	1.00	4.3
2.1 室温制御													1.0	1.00	5.0	1.00	
1 室温													-	-	-	-	
2 外皮性能													1.0	1.00	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性													-	-	-	-	
2.2 湿度制御													-	-	-	-	
2.3 空調方式													-	-	-	-	
3 光・視環境													2.4	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用													4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率													5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口													-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備													3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策													1.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光制御													1.0	1.00	3.0	1.00	
2 眩り基調対策													-	-	-	-	
3.3 照度													1.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御													3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境													3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策													4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質													4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気													3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量													3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能													-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮													3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理													-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視													-	-	-	-	
2 喫煙の制御													-	-	-	-	
Q2 サービス性能													-	0.30	-	-	3.4
1 機能性													3.6	0.40	4.0	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ													3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性													-	-	4.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応													3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画													5.0	0.30	4.0	0.40	
1.2 心理性・快適性													-	-	3.0	0.50	
1 広さ感・景観													-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース													5.0	1.00	5.0	0.50	
3 内装計画													3.0	0.30	-	-	
1.3 維持管理													3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計													3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保													3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性													2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震													3.0	0.50	-	-	
1 耐震性													3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能													3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数													3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数													5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔													2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性													2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備													3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備													3.0	0.20	-	-	
3 電気設備													3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法													1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備													3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性													2.8	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり													-	-	3.6	0.50	
1 階高のゆとり													-	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ													-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり													-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性													2.8	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性													3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性													2.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性													3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性													3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性													3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保													3.0	0.20	-	-	

CASBEE Sapporo2014v1.2
ミッドマークス円山 桜の邸

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		アクセント色により立面を文節化し圧迫感を軽減している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				日本住宅性能評定基準の一次エネルギー消費量等級5を満たしている。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.97	4.3	0.50	-	-	4.3
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					4.3	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A				低炭素建築物新築等計画認定を取得している。	4.3	1.00	-	-	-
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水型器具を使用している。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。	4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤		B			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B			ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。	4.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		B				-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		B			LCCO2排出率が72%である。	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	棟内ゴミステーションによる十分なスペースの確保。	4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-
1 騒音						3.0	1.00	-	-	-
2 振動						-	-	-	-	-
3 悪臭						-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						4.7	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている。	5.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					バルコニーの設置によりグレアの抑制を行っている。	4.0	0.30	-	-	-